

チンゲンサイ に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和6年8月1日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	対象病虫害						希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード	
	根こぶ病	白さび病	軟腐病	うどんこ病	さび病	灰色かび病								その他 病害虫
ネビジン粉剤	●						20~30kg/10a	は種又は定植前	1回	全面土壌混和	フルスルファミド	1回	<非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当>	36
							20kg/10a	は種又は定植前	1回	作条土壌混和				
リドミル粒剤2		●					9kg/10a	は種時又は定植時	1回	全面土壌混和	メタラキシル	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4	
スターナ水和剤			●				1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	オキシリニック酸	2回以内	31	
ライメイフロアブル		●					2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	アミスルブロム	6回以内(但し、土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内)	21	
ジーファイン水和剤		●	●				1000倍 (150~500L/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム	-	<野菜類(なすを除く)該当>	NC
							750~1000倍 (150~500L/10a)	収穫前日まで	-	散布	無水硫酸銅	-		M01
カリグリーン				●			800~1000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素カリウム	-	<野菜類(トマト、ミニトマトを除く)該当>	NC
							800倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布				
ハーモメイト水溶剤				●			800~1000倍 (150~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布	炭酸水素ナトリウム	-	<野菜類該当>	NC
							800倍 (150~300L/10a)	収穫前日まで	-	散布				

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤> チンゲンサイ

【令和6年8月1日現在】

薬剤名	対象病害虫						希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	根こぶ病	白さび病	軟腐病	うどんこ病	さび病	灰色かび病							
ランマンフロアブル		●					2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	シアゾファミド	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当>	21
アミスター20フロアブル		●					2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11
ユニフォーム粒剤		●					9kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和	アゾキシストロビン	3回以内(但し、粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)	11
			メタラキシルM	2回以内(但し、種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)	4								
Zボルドー			●				500~1000倍 (100~300L/10a)	-	-	散布	塩基性硫酸銅	-	M01 <野菜類(キャベツを除く)該当>
						褐斑細菌病、黒腐病、黒斑細菌病、斑点細菌病、べと病	500倍 (100~300L/10a)	-	-	散布			
スターナ水和剤			●				1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	オキシリニック酸	2回以内	31
オラクル顆粒水和剤	●						200~500倍 #	定植前	1回	灌注	アミスルブロム	6回以内(但し、土壌混和は2回以内、灌注は1回以内、散布は3回以内)	21 <非結球あぶらな科葉菜類該当>
							200~300g/10a (100L/10a)	は種前又は定植前	2回 以内	全面散布後土壌混和			

#セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3~4L)当り500ml

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

チンゲンサイ に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和6年8月1日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	対象病虫害									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ム キ シ ジ ノ ミ ハ	類 ハ モ グ リ バ エ	ウ ハ ス モ ン ヨ ト	ヨ ト ウ ム シ	メ イ ガ マ ダ ラ ノ	その他 病害虫							
フォース粒剤				●					ネキリムシ類	4kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	テフルトリン	1回 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	3A
スタークル粒剤				●						6kg/10a	定植時	1回	土壌混和	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	4A
	●			●						6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和			
スタークル顆粒水溶剤				●						2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	ジノテフラン	3回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)	4A
	●									3000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布			
モスピラン粒剤	●	●								3kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	アセタミプリド	2回以内(但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内)	4A
	●	●	●							0.5g/株	定植前日~定植当日	1回	株元散布			
				●							0.5g/株	定植当日	1回			
モスピラン水溶剤	●			●					カブラハバチ	4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	アセタミプリド	2回以内(但し粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内)	4A
ダントツ水溶剤	●									2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	クロチアニジン	4回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	4A
					●					2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布			
スカウト乳剤	●									1500倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	トラロメトリン	2回以内	3A
エビセクト水和剤		●	●						マメハモグリバエ	1000倍	収穫7日前まで	2回 以内	散布	チオシクラム	2回以内	14

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> チンゲンサイ

【令和6年8月1日現在】

薬剤名	対象病虫害									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード	
	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ム キ シ ジ ノ ミ ハ	類 ハ モ グ リ バ エ	ウ ハ ス モ ン ヨ ト	ヨ ト ウ ム シ	メ ハ イ ガ マ ダ ラ ノ	その他 病虫害								
パダンSG水溶剤		●		●	●					1500倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	カルタップ	3回以内	14	
プレオフロアブル		●						●		1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	ピリダリル	2回以内 <small>&lt;非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、みずな、な ばな類を除く)該当&gt;</small>	UN	
コテツフロアブル		●								2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	クロルフェナピル	1回	13	
エスマルクDF		●	●							1000~2000倍 (100~300L/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布	BT(生菌)	-	<野菜類該当>	11A
							●	オオタバコガ	1000倍 (100~300L/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布					
チューンアップ顆粒水和剤		●	●							2000~3000倍 (100~300L/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布	BT(生菌)	-	<野菜類該当>	11A
							●		2000倍 (100~300L/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布					
								ウリノメイガ	3000倍 (100~300L/10a)	発生初期 但し、収穫前日まで	-	散布					
アグロスリン乳剤	●		●							2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	シペルメトリン	2回以内	3A	
スピノエース顆粒水和剤		●	●		●		●	アザミウマ類		2500~5000倍 (100~300L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	散布	スピノサド	2回以内 <small>&lt;非結球あぶらな科葉菜類(みずな、非結球はく さいを除く)該当&gt;</small>	5	
アフーム乳剤		●	●							1000~2000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	エマメクチン安息 香酸塩	3回以内	6	
アクセルフロアブル		●		●						1000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	メタフルミゾン	3回以内	22B	
						●			2000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布					

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

#：「ヨトウムシ類」で登録

<殺虫剤> チンゲンサイ

【令和6年8月1日現在】

薬剤名	対象病虫害									希釈倍数 使用量 (散布液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数 <備考>	分類 コード
	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ム キ シ ジ ノ ミ ハ	類 ハ モ グ リ バ エ	ウ ハ ス モ ン ヨ ト	ヨ ト ウ ム シ	メ イ ガ マ ダ ラ ノ	その他 病虫害							
アニキ乳剤		●		●	●	●				1000～2000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	レピメクチン	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	6
ディアナSC		●	●		●	●	●	●	アザミウマ類	2500～5000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	スピネトラム	2回以内	5
ダントツ粒剤	●									6kg/10a	は種時	1回	播溝処理土壌混和	クロチアニジン	4回以内(但し、は種時及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	4A
										6kg/10a	定植時	1回	作条処理土壌混和			
モスピラン顆粒水溶剤	●			●					カブラハバチ	4000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	1回	散布	アセタミプリド	2回以内(但し、粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内)	4A
ウララDF	●									4000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	フロニカミド	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	29
ブロフレアSC		●	●	●						2000～4000倍 (100～300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	ブロフラニリド	3回以内 <非結球あぶらな科葉菜類該当>	30
カスケード乳剤		●	●						マメハモグリバエ	2000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	フルフェノクスロ ン	2回以内 <非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)該当>	15

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。